

みなさん お世話になっております 『 富山すもう愛好会 』です。
アマチュア相撲の普及や 『 相撲をとおして絆の輪を広げる活動 』をしております。

HP『 富山県相撲連盟(検索) ⇨ その他 』で掲載中 見てね！

VOL・25 (2024.3) 100部発行+HP報告

☆ 科学文部省・スポーツ庁が進めている 『 中学の体育授業 』においては柔道・剣道・空手相撲など武道9競技の奨励。また『 中学クラブ活動 』においては、少子化や教員の指導員不足・働き方改革の対応として、単独校や市・町の行政区域を越えた 『 部活動の地域移行 』が進められて、県内においても昨年より『 中学クラブ活動の地域移行 』が一部の競技で組織設立され全国中学校大会や県民体育大会などで活動し始めている。
県相撲競技でも 令和6年度より射水市で『 いみずの道場 』として本格的に地域移行を進める事になった。現在30歳以上の方には、想像もつかないが中学の大改革が始まった。少子化・働き手年齢・高齢化について厚生労働省の人口問題研究所発表によると富山県のピーク年 ⇨ 現在 ⇨ 2050年を見ると都会を除く全ての県で状況が著しい。

☆ 平成5年度は、児童・中学生・高校生・大学生・社会人の全般に渡り県外大会や全国大会で富山県相撲連盟始まって以来の好成績です。素晴らしい！
このことは、近年において香川丈二副会長、(故)浦山英樹、犀藤和憲氏、高畑理事長や特にアイシン軽金属相撲部員の全国トップクラス選手、また教員ほか関係指導者の賜です。これからも、まず小中高校生の発掘と育成を図り、大学・社会人として普及を図りたい。

☆ 近畿大学相撲部で富山市出身の 『 浦山秀誠君 3年生 』が時期主将になる。
浦山秀誠君は、富山商業高校相撲部監督だった(故)浦山英樹さんの長男で小学生の頃から優秀で、中学3年生で全国中学校選手権で準優勝の快挙！ また昨年の北信越選手権成年の部で個人優勝、そして11月の全日本学生選手権で近畿大学が13年ぶり9度目の団体優勝メンバーとして活躍。
なお、名門近畿大学の歴代主将には、吉田幸治(富山市役所総務部長歴)、父 故浦山英樹について3人目である。

☆ 2月25日射水神社にて 昨年全国大会で大活躍した高岡向陵高校相撲部や五十嵐翔(全国金沢・個人優勝ほか)君の健闘祝賀会が行われ約60名の関係者が列席。
山本徹高岡市相連会長の挨拶、中山昌監督の謝辞ほか催されました。卒業生5名は大学へ進学予定です。



☆ 国際親善大会『白鵬杯』で大活躍・・・ 県相撲歴代初めての快挙！



井島 悠希 君

2月12日 両国国技館で開催された第14回国際親善大会『白鵬杯』に10ヶ国、幼児～中学生 1100人が参加。
この大会に、中学生の部で氷見市朝日丘小学校出身で強豪石川県津幡南中学校に越境入学している『 井島悠希 中学3年 』が見事個人優勝。
妹の奈々美さんは令和4年全国女子小学4年生軽量級で3位に入賞。優勝後『 うれしい先生方や家族に感謝している 』と声を弾ませせており、卒業後は富山県に帰り呉羽中学3年の滝仁智華、林颯馬、三澤賢人君らと共に高校での活躍が期待される。

上 堀 豪師 君
下 高森 心也 君

幼児の部では、射水市 堀篤史のご子息の『 堀 豪師君 』が見事準優勝。小学3年生の部では 高岡市 『 高森心也君 』が3位！

【 大相撲 3月場所（大阪場所） 私感 】

☆先場所は、関脇霧島の連続優勝で横綱かと思いきや11勝4敗で**横綱照ノ富士**が13勝で9回目の優勝！ 怪我で休場が続いていたがさすが横綱。大関霧島は、内容的には良かったが照ノ富士、琴ノ若や小兵翔猿や翠富士に翻弄され4敗が悔やまれ横綱への挑戦はリセット。



☆今場所は誰が優勝か？ 組んだら強い横綱照ノ富士、勢いに乗る新大関琴ノ若、大関霧島や大関豊昇龍の上位陣。気がかりは照ノ富士、貴景勝、豊昇龍の怪我の回復。最近の琴ノ若は、取り口に安定感がある。見事大関に昇進し祖父横綱琴桜、父佐渡ヶ嶽親方(元関脇琴ノ若)のサブレッドで今後が期待。26歳、189cm、177kg。

☆見所 琴ノ若と霧島の安定した取組みや大栄翔・若元春・宇良・翠富士・翔猿の活躍。何と言っても『石川県出身 大の里』だ、新入幕で三役以外の平幕には全勝で大きいだけでなくアマチュア時代の実績が活かされている。大怪我が無ければ大関・横綱か？ 期待の大型力士、熱海富士(6勝)、金峰山(7勝)、湘南乃海(4勝)は、研究されなかなかなか足踏み状態。さすがプロの世界は、大きいだけでは勝てない。

☆朝乃山は、前頭筆頭復帰し勝ち越せば小結の可能性大。怪我の回復が心配です。旭水野(朝日町・富山商業)が小さいながら、着実に勝ち越して頑張っている。個人的には富豊へ期待しているが最近負け越しており 怪我か？ 伸び悩み？ 頑張れ富山力士！

令和6年4月7日(日) 春巡業大相撲富山場所 富山市総合体育館 発売中
令和6年8月5日(月) 夏巡業大相撲砺波場所 富山県西部体育館 発売中

【 特集 】 富山県出身力士の1年間の成績

皆さん けがをしないよう 関取をめざし頑張ってください！

黄色枠：勝越
赤字：1年間の最高位

力士		5月場所	7月場所	9月場所	11月場所	1月場所	3月場所
朝乃山 石橋 広暉	高砂部屋 富山市 富山商業・近大	前頭 14 12勝	前頭 4 8勝	前頭 2 9勝	前頭 1 4勝4敗7休	前頭 7 9勝3敗3休	前頭 1
	H6.3.1 30歳 187cm 170kg 近畿大学 高砂親方(元関脇 朝赤龍)						
旭水野 水野 翔	大島部屋 朝日町 富山商業高	序二 5 4勝	三段 75 4勝	三段 54 2勝	三段73 5勝	三段 41 5勝	三段 14
	H16.3.12 20歳 169cm 138kg 大島親方(元関脇 旭天鵬)						
常川 常川 凉介	荒汐部屋 南砺市	三段 69 4勝	三段 49 4勝	三段 33 2勝	三段 55 4勝	三段 37 4勝	三段 24
	H6.10.17 29歳 181cm 124kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)						
千代烈士 川口 大地	九重部屋 南砺市 高岡向陵高	三段 50 3勝	三段 64 4勝	三段 45 5勝	三段 18 全休	三段 78 5勝	三段 47
	H15.4.3 20歳 172cm、119kg 九重親方(元大関千代大海)						
富豊 とみゆたか 前田 悠翔	時津風部屋 高岡市 金沢学院高	三段 17 3勝	三段 32 4勝	三段 19 3勝	三段 33 3勝	三段 48 2勝	三段 71
	H12.7.8 23歳 180cm 143kg 時津風親方(元前頭筆頭 土佐豊)						
坂林 坂林 欣紀	尾上部屋 高岡市 高岡向陵高	序二 22 5勝	三段 76 2勝	序二 21 5勝	三段 76 4勝	三段 57 2勝	三段 75
	H11.11.28 24歳 175cm 131kg 尾上親方(元小結 濱ノ嶋)						
飛驒野 飛驒野幹人	荒汐部屋 富山市	序二 43 6勝	三段 67 1勝	序二 22 2勝	序二 54 6勝	三段 77 3勝	三段 87
	H2.9.14 33歳 177cm、133kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)						
霧乃華 中嶋駿太郎	陸奥部屋 高岡市	序二 77 2勝	序二 97 4勝	序二 62 2勝	序二 83 4勝	序二 52 3勝	序二 69
	H17.1.8 19歳 179cm 91kg 陸奥親方(元大関 霧島)						

【 ちょっといい話① 】



☆ すもうはどうして国技 ？

人類誕生と共に取っ組み合い、投げ合い、力比べは、古くは古代ローマでのオリンピック、蒙古相撲、中近東、ヨーロッパ、インド、アフリカなど現在も世界中でおこなわれている。日本の『相撲』は712年の古事記に記載されていたり、相撲の土俵やルールなどは、相撲好きな織田信長が始めたとの一説もあるが現在も奉納相撲、地域相撲ちびっ子相撲など日本全地区で開催されている。

明治42年に東京都両国に常設館(建物)が完成。その開館式に署名な文人『江見水蔭』が記した会館披露文に『…そもそも角力(すもう)は国の国技…』が記載され大相撲協会では『国技館』と命名し広く世に知れ渡った。しかし『相撲が日本の国技』との根拠は無いが社会的通念として『相撲は国技』と言われている。

また、江見水蔭の俳句に『日の本を 文固むるは 相撲かな』。力士の四股は邪悪な霊を踏み固める神事的な意味合があり、他スポーツと異なるいわれがある。

☆ 三年先の相撲 (全てのスポーツも 人生も同じ)・・・相撲用語

誰もが即時、上手に成れないし強くは成れない。

毎日の練習や試合の経験を重ねる事により 段々と上手になれる・強くなれる。今やっていることが明日から出来るのではなく、半年後 ☞ 一年後 ☞ 二年後 ☞ 三年後には自分の技となり、実力が向上していくのです。必ず成果は出ます！ それを信じて頑張りましょう！

☆ 夢は叶う 継続すれば叶う ! (全てのスポーツも 人生も同じ)

強くなりたい、上手になりたい、入賞したい、優勝したい、そんな目標をどうすれば叶うのか。何事も『本人の志が大切』。自分で考え、良き先輩・指導者や仲間巡り会い、自分のスタイルを作り、反復練習をすればおのずと上手になれる、強くなれる。継続は力なり！

☆ 「引退相撲」と「断髪式」の違い

同じ意味で使用されることもありますが、正確には異なります。「引退相撲」という興業の中に催し物の一つとして「断髪式」があります。

引退相撲には、断髪式以外に呼び出しによる太鼓の打ち分け、横綱の土俵入り、禁じ手をおかしくわかやすく伝える初っ切り、相撲甚句、主役による最後の一番、力士の取組み。なんといってもメインイベントはやはり「断髪式」、永年取り組んだ土俵最後の仕事で思わず涙を誘います。その後、理髪し今までのお礼とこれからの旅立ちの口上があります。

国技館の土俵で開催するには、関取(十両以上)として30場所以上の実績が必要。しかしこの規程をクリアすれば国技館で出来る訳ではありません。引退相撲は、引退本人による主催行事で、準備や経費対応やチケットの販売など大変な作業があります。国技館での引退相撲は、1月・5月・9月の東京での本場所後に実施する場合があります。国技館で出来ない引退関取はホテル。また関取以外の若い衆のほとんどは、千秋楽の内上げで断髪式を行うこともあります。番付表には 600人程いるそうですが給金取りの関取さんは幕内で約42名+十両で約28名=合計約70名。給金有りが12%、無しが88%。いずれのプロスポーツでも同じですが、世代交代や給与面では 厳しい社会ですね。